

教義

私たちが人間として生を得るということは、仏さまと同じ心、「仏心^{ぶつしん}」を与えられてこの世に生まれたと、道元禅師さまはおっしゃっておられます。「仏心」には、自分のいのちを大切にすることでなく他の人びとや物のいのちも大切に、他人への思いやりが息づいています。しかし、私たちはその尊さに気づかず、我がまま勝手な生活をして、苦しみや悩みのもとをつくってしまいがちです。

お釈迦さま、道元禅師さま、瑩山禅師さまの「み教え」を信じ、その教えに導かれて、毎日の生活の中の、行いのひとつひとつを大切にすることを心がけたならば、身と心が調えられ、私たちのなかにある「仏の姿」が明らかとなります。

日々の生活を意識して行じ、互いに生きる喜びを見いだしていくことが、曹洞宗の目指す生き方といえましょう。